

清瀬の歴史を写真で見よう!



【梅園】昭和6(1931)年 東京府立清瀬病院が開院 (写真は『清瀬病院年報第五』〈昭和11年〉より)



【竹丘】昭和14(1939)年 傷痍軍人東京療養所(後の東京病院)が開院 (写真は昭和41年東京病院東寮病棟の林内)



【中里】昭和39(1964)年 町役場前に公衆電話設置



【松山】昭和41(1966)年 初の歩行者専用の信号機



【野塩】昭和42(1967)年 秋津駅前に交番設置



【上・中・下清戸】昭和46(1971)年 日枝神社改修記念で、ひきずりモチ祭りを32年ぶりに開催



【下宿】昭和53(1978)年 下宿運動公園オープン



【元町】平成7(1995)年 清瀬駅北口再開発事業竣工



【旭が丘】平成28(2016)年 「海よりもまだ深く」のロケ地 「旭が丘団地」

4月より市の組織を一部改正します

行財政改革をこれまで以上に力強く推進するため、未来創造課マネジメント係をイノベーション推進係へ統合します。また、新校建設に向けて、教育企画課に新校建設係を新設し

ます。組織体制は、現行の9部34課67係から変更はありません。☎未来創造課イノベーション推進係 ☎042-497-1802

4月1日に清瀬市観光協会を設立

清瀬市観光協会は清瀬市及び周辺地域と連携しながら、清瀬の観光ブランド力の向上など観光施策を推進し、地域の産業振

興及び活性化を図ります。お問い合わせは下記へ。☎清瀬市観光協会(市役所本庁舎内) ☎042-497-1842

春の全国交通安全運動が始まります

今年は4月6日(土)から4月15日(月)までの10日間、春の全国交通安全運動が行われます。運動期間中は、皆さんの安全と健康を守ることを第一としながら、交通安全意識の高揚に努めていきます。交通事故のない安全なまちづくりへのご協力をよろしくお願いします。

方法の実践 ②歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行 ③自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守 ④二輪車の交通事故防止 ☎東村山警察署 ☎042-393-0110 道路交通課道路交通係 ☎042-497-2090

納税にご協力を

■夜間納税・納税相談 ☎ 4月24日(水)・25日(木)午後8時まで ■日曜納税・納税相談 ☎ 4月28日(日)午前9時～午後4時

市民と歩んだ 清瀬駅の100年



清瀬駅100周年について 詳しくはこちら

第7回 人道橋、清瀬駅南口誕生

昭和28年に2代目清瀬駅が誕生した後、病院への見舞客や都心への通勤客の増加に伴い、1日の乗降客数が昭和30年に13,900人、昭和35年に12,856人と昭和25年よりも増加しました。さらに、昭和42年には旭が丘団地が誕生、団地への入居が始まったことで、更に人口が増加しました。



昭和45年ごろ(北口)

そのため、昭和30年代後半は駅周辺の整備および団地までの交通網の整備が重要な課題となっていました。そこで、当時は農地で現在のようない商業施設などが存在しなかった現在の南口付近を整備し、新しい出入口である南口を作ることが最も有効な解決方法として考えられていました。

バスターミナルを設置することが記されていました。

それらを踏まえて、昭和42年11月に南口が誕生しました。この南口には北口と繋がる人道橋が建築されたことにより、駅の利用者は人道橋を通過して駅の改札口へ向かうことになりました。また、新しくできた南口は、現在の商店がある訳でもなく道路とバスターミナルと畑地が広がっていました。しかし、この後に南口付近は急激に発達し、昭和40年後半には現在の商店街が広がる光景が出来上がりました。

昭和41年には、清瀬駅周辺整備委員会の協議によって清瀬駅南口周辺の整備計画が出されました。そこには南口に新しい道路、駅前広場の新設、そして



■土曜納税・納税相談 ☎ 4月13日(土)午前9時～正午 場いづれも市役所徴収課窓口 ☎徴収課徴収係 ☎042-497-2045